

第7回 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 2013(平成25)年 2月 8日
- 2 開催場所 宮ヶ瀬レイクサイドエフエム放送機構株式会社 本社
- 3 委員出席 委員総数7名 出席委員数5名 規定による3分の2以上の出席
- (1) 出席委員の氏名 山本善男 藤田義友 長田重穂 山口洋子 朝倉英明
- (3) 放送事業者側出席者名 朝倉徳男代表取締役社長
望月千弘放送担当代表取締役 志村寧子取締役放送局長

4 議題

- 第1議題 放送法施行規則第5条による報告
第2議題 実名報道の考え方について
第3議題 広報文の取り扱いについて

5 議事の概要

第1議題 前回の審議会開催以降、訂正放送等に関し、報告する事項はない。また、放送番組に関して申し出のあった苦情その他の意見としては、次の通りでした。(すべて、書面によるもの) 報告。

- (1) 休日放送の「ホリデーワイワイトーク」では、方位磁石については知らないことが多く、特集されることないので興味を持って聞かせていただき勉強になりました。
別では、同番組 ヘリコプターの捜索等、有料化についてなど、トークが面白く聞いたものです。最初は宮ヶ瀬レイクサイドエフエムとは知りませんでした。
- (2) 宮ヶ瀬ダム方面にドライブの際、(中略)花火大会に関する情報を聴くことができました。
- (3) 「JAZZ」(中略)「荒井由美&松任谷由美」等、音楽番組としては大変聴きごたえある内容でした。
- (4) 番組を通じて清川村の魅力がよくわかりました。実際に来てみて、素敵な場所だと実感しました。
- (5) 休日の午後の番組ということでおそらく地元の方向けではなく、ドライブか何かでこちらに来た人向けと思いました。曲とトークのバランスもよく気持ちよく聞けました。

第2議題 実名報道の考え方について、報道番組中、実名報道をするのか否か判断は、どのようになっているのかという点について、放送局側から説明に続き、審議会としての一定の判断があった。

第3議題 警察等からの「広報文」の取り扱いについて、説明を求められた。

6 審議内容

第1議題中

開局当初は、クマさん、シカさんやお猿に放送を聴かせるのかとの意見もあったが、開局により、清川村の地域活性化の一助になっていると考えられる。

第2議題中

望月放送担当取締役 → 放送区域内に約1,000世帯、3,000人強が住む清川村でも、事件事故が起きています。その点で、「疑わしきは罰せず」の考え方、事故等により「関係者」がはっきりしているが、原因がはっきりしない場合、加害者及び被害者が確定されていないこともあり、放送局の基本原則としては、

匿名報道とし、場合により性別も伏せることがあります。

志村取締役放送局長 → 例として、「35歳運転手の男性」、「小学4年生の児童」、「15歳の少年」等各審議委員の合意として → 匿名報道を基本原則とする。

第3議題中

望月放送担当取締役 → いわゆる発表物の判明事項には、個人情報等、興味を引く情報等も含まれていますので、現在、放送局内では、志村取締役放送局長と2名のみが、その取り扱いを行っています。

また、その保管は、志村取締役放送局長がその任に当たり、いかなる人からの問い合わせ等にもお答えしないこととしています。

また、放送原稿作成の段階で、内容が、興味本位にならないようにも十分注意しています。

審議委員から「内部の問い合わせにも応じないのか」との質問に対して、「例えば、関係者が入院している場所等について、人命にかかわる情報を開示することがあるかもしれないが、基本的には、お答えしない原則とします。」とあった。

7 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容及びその年月日 (答申又は意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。)